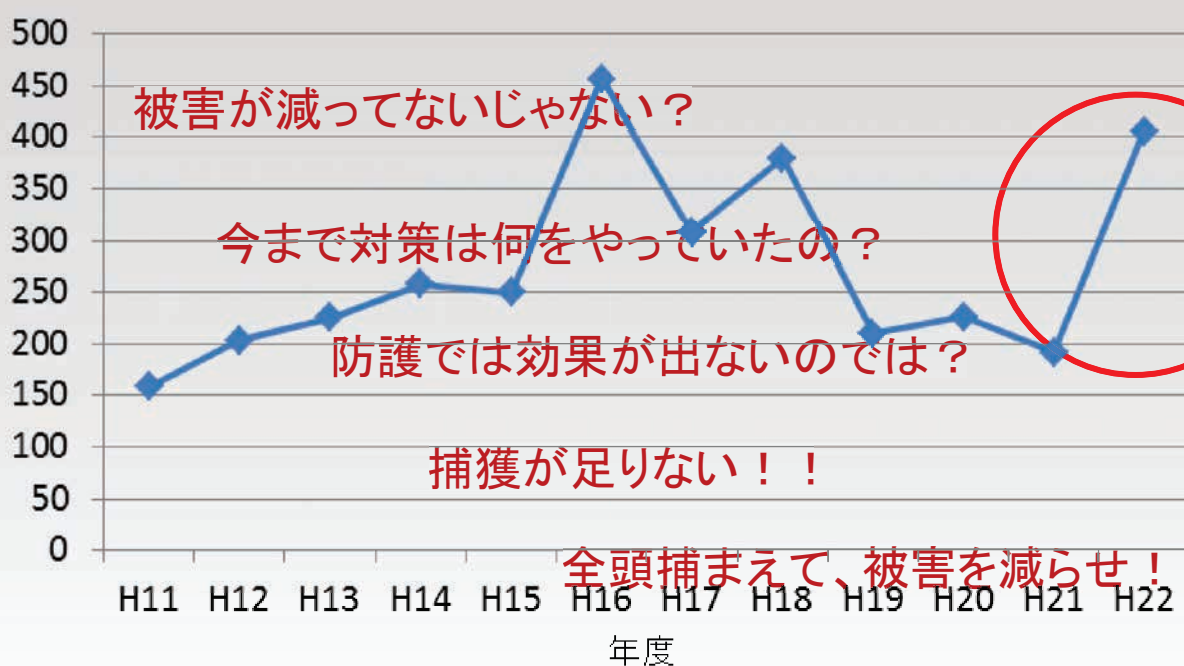


被害対策の状況と効果検証



▶ なぜ被害は思うように減らないのか！？

被害額(百万円)



▶ 長崎県における被害報告の様式の事例

■ 年2回(10月末・3月末)の調査を実施

		被害作物		被害額				被害状況				
地図上の 番号	鳥獣種類名	被害発生箇所の地番	農作物名		被害面積 (a)	被害量 (kg)	被害単価 (円/kg)	被害金額 (千円)	被害発生 生時期	被害状況	防護柵設置状況	H21年度 被害
			分類	品目名								
1	イノシシ	〇〇町西郷小豆倉己	稲	水稻	2.0	30.0	245	7,000	10	倒伏	防護柵設置無し	×
2	イノシシ	〇〇町西郷岩穴	稲	水稻	5.0	200.0	245	49,000	10	倒伏	防護柵設置無し	×
3	イノシシ	〇〇町西郷中尾	いも類	ばれいしょ	0.2	5.0	88	0.000	3	被食	防護柵設置無し	×
4	イノシシ	〇〇町西郷丁①	いも類	ばれいしょ	3.0	80.0	88	7.000	10	複合1 (倒伏・被食)	防護柵設置無し	×
5	イノシシ	〇〇町西郷丁②	飼料作物	デントコーン (飼料)	1.0	100.0	11	1.000	11	複合1 (倒伏・被食)	防護柵設置無し	×
6	イノシシ	〇〇町西郷丁③	飼料作物	デントコーン (飼料)	46.0	500.0	11	6.000	11	複合1 (倒伏・被食)	防護柵設置無し	×
7	イノシシ	〇〇町西郷丁④	飼料作物	デントコーン (飼料)	3.0	1,000.0	11	11.000	11	被食	防護柵設置無し	×
8	イノシシ	〇〇町西郷丁⑤	いも類	ばれいしょ	10.0	100.0	88	9.000	10	被食	防護柵設置無し	×
9	イノシシ	〇〇町丁	いも類	かんしょ	5.0	150.0	70	11.000	11	被食	防護柵設置無し	×
10	イノシシ	〇〇町西郷丁東山口	稲	水稻	6.8	272.0	245	67.000	9	複合1 (倒伏・被食)	防護柵設置無し	×
11	イノシシ	〇〇町古部甲岡名	果樹	みかん (露地)	80.0	200.0	135	27.000	通年	複合1 (倒伏・被食)	防護柵設置無し	×
12	イノシシ	〇〇町古部甲園田広野	野菜	スイカ	7.0	20.0	114	2.000	7	複合1 (倒伏・被食)	防護柵設置無し	×
13	イノシシ	〇〇町園田広野	野菜	カボチャ	7.0	5,000.0	100	500.000	6	複合1 (倒伏・被食)	防護柵設置無し	×
14	イノシシ	〇〇町西郷戊①	いも類	かんしょ	2.0	100.0	70	7.000	8	被食	防護柵設置無し	×
15	イノシシ	〇〇町西郷戊②	豆類	落花生	5.0	10.0	300	3.000	8	被食	防護柵設置無し	×
16	イノシシ	〇〇町西郷戊③	野菜	サトイモ	2.0	10.0	121	1.000	9	被食	防護柵設置無し	×
17	イノシシ	〇〇町伊福乙平田①	稲	水稻	6.4	30.0	245	7.000	10	倒伏	防護柵設置無し	×
18	イノシシ	〇〇町伊福乙平田②	稲	水稻	5.9	50.0	245	12.000	10	倒伏	防護柵設置無し	×
19	イノシシ	〇〇町伊福乙平田③	稲	水稻	11.3	100.0	245	25.000	10	複合1 (倒伏・被食)	防護柵設置無し	×
20	イノシシ	〇〇町西郷己中尾	稲	水稻	12.3	100.0	245	25.000	10	倒伏	防護柵設置無し	×
21	イノシシ	〇〇町西郷戊④	いも類	ばれいしょ	10.0	100.0	88	9.000	通年	倒伏	防護柵設置無し	×

被害場所(地番まで)

被害発生時期

既存の防護対策
(ありなし・柵の種類)

被害の連続性

昨年同期との比較



▶ そもそも被害対策は進んでいるのか

約2,000kmの防護柵(H23)はどの地域に設置されるのか！？

■ 被害発生地域の内情は・・・ 地区の考え方:被害が発生した場所を字などの単位で整理したもの704地区(5,483件)

H23年度に事業に取り組む地域 (291地区)	H23年度に事業に <u>取り組まない</u> 地域 (413地区)
----------------------------	---------------------------------------

防護対策を中心に3対策推進による被害軽減が見込まれる
(効果的かつ適切な対策技術の推進が課題)

この地域の被害に対処しなければ、**被害の軽減は不可能**



▶ 対策遅延地域の考え方

■ H23年度中に事業等を活用した被害対策に取り組まない地域の内情は・・・

H23年度に事業に取り組まない地域(413地区)

防護柵の 設置割合が 80%以上 A地区 (110地区)	防護柵の 設置割合が 50～80% B地区 (59地区)	防護柵の 設置割合が 50%未満 C地区 (244地区)
--	--	--

新規被害発生地といいながらも、
防護柵が設置されている

⇒柵の設置状況により対応

- ・柵がある程度普及した上で
問題がある地域
- ・今後の柵の普及が課題と
なっている地域

- ・防護柵の設置の検討推進
- ・棲み分け対策や捕獲対策の取組み
⇒今、できる対策から順次取組む

・既設の柵の効果アップ

+

・棲み分け対策・捕獲対策の強化による3対策推進

▶ 被害対策効果の評価・可視化が必要

防護柵を約2000km設置（H23）したにも関わらず、
被害額は200万円しか減少（H24）しなかった

じゃあ柵は効果がないのか！？

元データ	H22	H23	H23年度柵の効果
地区名	被害額(千円)	被害額(千円)	対策効果額(千円)
市瀬免	1214 ×	104	1110
江里免	5574 ○	2233	3341
大茂免	3151 ○	281	2870
宮瀬免	1116 ×	501	615
口石免	718 ×	711	7
木場免	4447 ○	352	4095
角山免	5421 ○	186	5235
野寄免	512 ○	259	253
羽瀬和免	260 ×	221	39
八口免	12772 ○	39	12733
半野免	1573 ×	655	918
松瀬免	123 ×	1191	-1068
徳木場免	5054 ○	1040	4024
鶴川免	230		230
志方免	1105		1105
小浦免	○	165	-165
栗林免	×	378	-378

被害が発生したほ場を
もとに地区分けを実施

H23年度の防護柵
整備状況

防護柵による被害軽減効果の算出

■ 約1.7億円の被害軽減効果があったと見込まれる

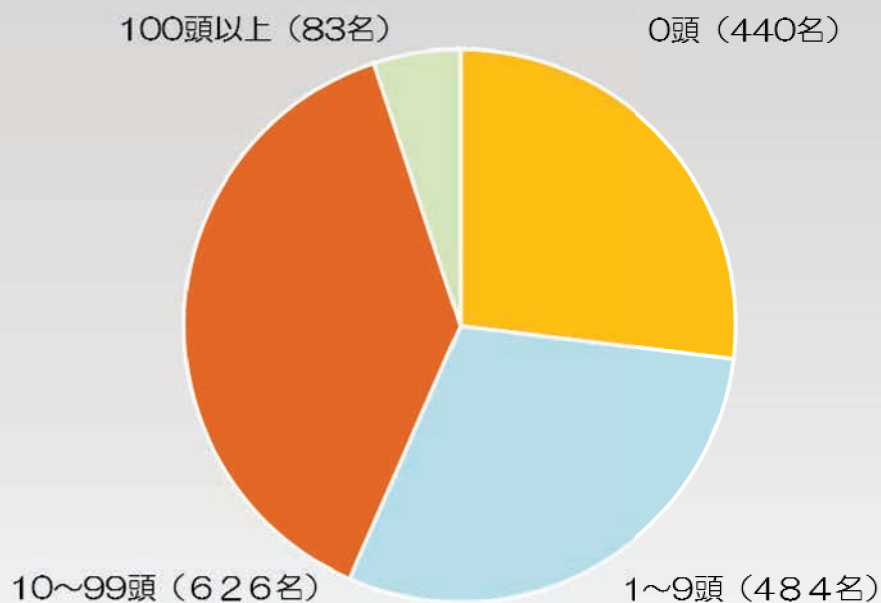
- ・対策効果の検証が不十分
- ・被害発生から対策効果を得るまでのタイムラグ

▶ 狩猟免許所持者数の推移(長崎県)

免許種別	H15年度	H21年度	H27年度	H27/H15
網	905名	133名	126名	—
わな		1,625名	2,445名	2.70
1銃	1,107名	848名	702名	0.63
2銃	35名	18名	24名	0.69
計	2,047名	2,624名	3,297名	1.61

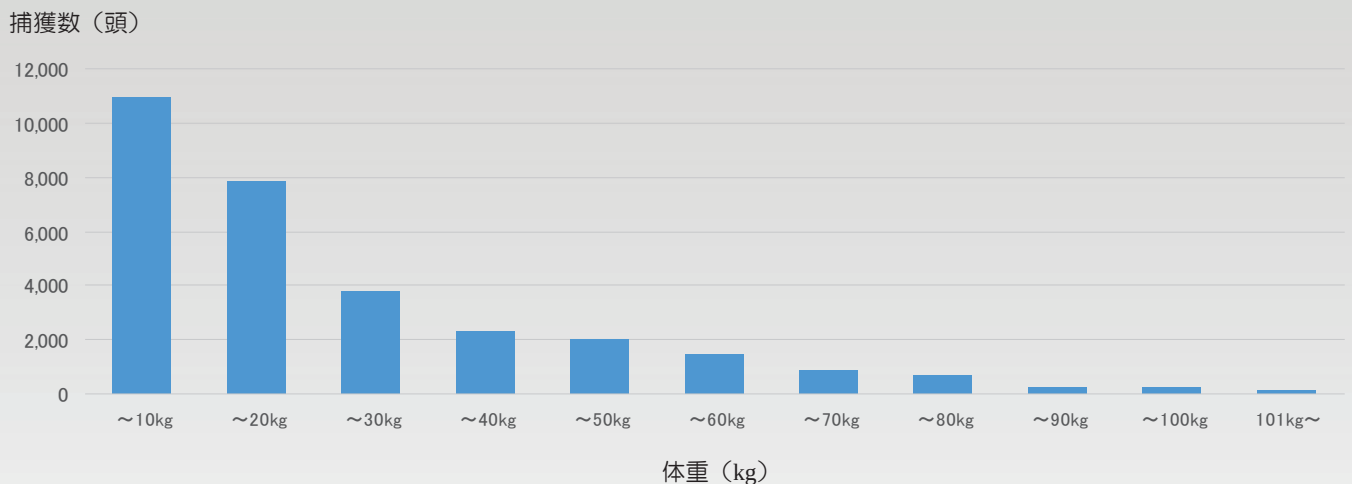
- 狩猟免許所持者数は近年増加傾向
- 狩猟免許所持者3,297名のうち、有害鳥獣捕獲の従事者は1,634名

▶ 捕獲従事者の年間イノシシ捕獲数



- 有害鳥獣捕獲の従事者は1,634名のうち、440名が実績なし

▶ 体重別のイノシシ捕獲数(H25)



体重	~10kg	~20kg	~30kg	~40kg	~50kg	~60kg	~70kg	~80kg	~90kg	~100kg	101kg~
頭数	10,939	7,828	3,787	2,313	1,995	1,452	888	704	239	282	132
割合	35.8	25.6	12.4	7.6	6.5	4.8	2.9	2.3	0.8	0.9	0.4

▶ 現状把握の重要性(特に公務員は!!)

■ 事業効果の現状分析を行い、可視化すること

- ・ 必ずしも全域でする必要はない
- ・ 必ずしも毎年する必要はない

■ 分析と可視化によって、効果だけではなく、問題点や改善方法、普及方法等が見えて来る + 説明責任

既存制度の活用と 人材の育成活用



▶ 現地指導方法（集落環境点検）

